

ブラジルチドメグサ撤去作業を実施

5月も終わりを迎え、菊池川の河岸にブラジルチドメグサが大繁茂を始めています。

そこで、平成20年5月26日「ブラジルチドメグサ」の撤去作業を職員10名で行いました。これは、自分たちの手でブラジルチドメグサに触れ・撤去することで、その生態及び繁茂環境等を確認することを主目的としています。また、作業場所は河川利用が多い山鹿市内の河川敷で実施しました。

当日は炎天下の中、ブラジルチドメグサを手に取り、生態等を確認しながら、約2時間撤去作業を続け、軽トラ8台分のブラジルチドメグサを撤去しました。なお、特定外来生物であることから、外部への持ち出しができないため、過日、現場にて焼却しています。

菊池川にはまだまだ、多くのブラジルチドメグサが残っています。今後も関係自治体等とも協力しながら、ブラジルチドメグサと戦っていきたいと思います。

※ブラジルチドメグサとは？

セリ科の水草で、南アメリカ原産。繁殖力が旺盛で河岸等に生え、夏場には大繁茂し水面全体を覆う。

そのため、治水上はもちろんのこと水中に光が届かなくなることから、生態系を大きく変えてしまうため、特定外来生物に指定されている。

平成10年菊池川において全国で初めて確認された。



繁茂するブラジルチドメグサ



きれいになりました



職員での撤去作業状況